

朗読版

6枚組 12,000円+税

児童文学

名作選

CD

全25話

私の一言



作家・太田治子

日本の児童文学は日本文化の「宝」です。私も幼い頃から児童文学を多く読み、多くの影響を受けました。さらに朗読を通して作品に接することは、一層、情趣が深まることと思われれます。

おおた・はるこ

作家・神奈川県・田原市生まれ。紀行文・評述で婦人公論記者受賞。作品に「言いだしかねて 父、太宰治をして黄、家庭を語る」(主婦の友社)、「花の見た夢」(風の見た夢) (講談社)、「小さな神さま」(明るい方)、「父・太宰治」(母・太田治子)、「夢さえみれば」(日本近代洋画の父・浅井忠) (朝日新聞出版) 他多数。

特徴

- 解説小冊子つき。作品の内容理解が深まります。
- 朗読台本は日本朗読人協会HPから自由にダウンロードできます(無料)。
<http://www.yufa.co.jp/roudokujin>
- 児童・子どもへの読み聞かせにもご利用できます。図書館員、学校の先生方のスキルアップにも最適。
- 図書館、幼稚園、保育園等でのご利用、貸出しは自由です(連絡不要)。



朗読版

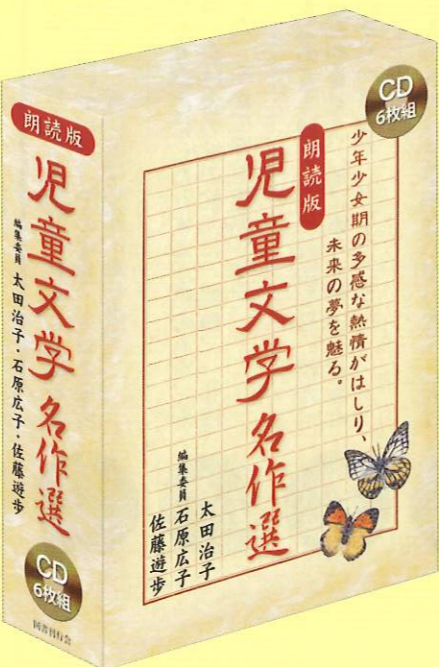
CD

6枚組

児童文学名作選

子どもたちに声で伝える

日本の豊かなこころ



朗読
日本朗読人協会



国書刊行会

珠玉の名作
全25話

編集委員

太田治子 (作家)

石原広子 (新劇女優)

佐藤遊歩 (演出家)

こころの糧

明治から大正、昭和にかけては近代日本の成長期というだけでなく、教育がさかんになった「子ども時代」でもありました。そして、ひとときわ光る純文学作品が、つぎと華ひらいた時代です。

『朗読版 児童文学名作選』では、大人も心を動かされる作品を選びました。朗読の豊かな表現力によって文学の美しさや深みが増し、みずみずしい心身に、人生の悲哀と感動のよるこびが広がり、やがて無形の財産となって、大きな人間を育てます。

姉妹編 好評発売中 朗読版 各CD 3作品収録 平均65分

仏教文学名作選

素晴らしい心の風景、素晴らしい物語
そして、素晴らしい人々との出会い
CD5枚+解説1枚 12,000円+税

- 朗読作品群
- 小泉八雲 「梅津忠兵衛の話」
 - 菊池寛 「風雲の彼方に」
 - 田山花袋 「ある僧の奇蹟」
 - 芥川龍之介 「蜘蛛の糸」
 - 坂口安吾 「行雲流水」
 - 森鷗外 「山椒大夫」
 - 中島敦 「山月記」
 - 泉鏡花 「高野聖」
 - 岡本かの子 「鯉魚」
 - 夏目漱石 「夢十夜」
 - 大宰治 「厄」
 - 宮沢賢治 「よだかの星」
 - 幸田露伴 「印度の古話」
 - 堀辰雄 「浄瑠璃寺の春」
 - 尾崎紅葉 「二人比丘尼色懺悔」

国書刊行会

〒174-0056 東京都板橋区志村1-13-15
TEL 03-5970-7421 FAX 03-5970-7427
<http://www.kokusho.co.jp> e-mail: sales@kokusho.co.jp

取扱書店

有島武郎

一房の葡萄

21分13秒

石原広子

作者

タイトル

朗読者

※ディスク1にはプロローグ(佐藤遊歩、1分51秒)、ディスク6にはエピソード(石原広子、1分23秒)がそれぞれ収録されています。

西洋人の住む町の小学校に通う「僕」は、同級生の絵具を盗んでしまう。それを知った先生は叱ろうとせず、葡萄蔓から葡萄をもぎとり「僕」の膝にのせる。良心に苛まれる内気な少年と、西洋人女性教師の包容力を暖かく描く。

小川未明

月夜と眼鏡

12分28秒

飯田明子

ある月夜、針仕事をしていたおばあさんは、やってきた眼鏡売りから眼鏡を買う。夜が更けて休もうとすると、今度は指をけがした女の子がやって来る。手当すると女の子は美しい胡蝶となった。いつの間にか胡蝶は姿を消す。

押川春浪

橙の花束

21分08秒

石橋みや子

病弱だったベテラは、高名なピアノリスト、クリスタアナの演奏を聞きたいと言い残して、湖の別荘で亡くなった。その後、別荘に住んだのは不思議にもクリスタアナだった。幽霊となって念願の演奏を聴いたベテラはお礼の徴を残す。

室生犀星

寂しき魚

17分05秒

佐藤遊歩

古い沼に住む古い魚は、少しも動こうとせず、しきりに何かを考えていた。月の光が魚を青白く輝かせていた。魚は、はなれた地上の都会に憧れるが、からだがいふことをきかなくなり死を迎える。それはとても安らかな最期であった。

太宰治

走れメロス

20分28秒

菅野和子

暴君ディオオニスの暗殺を決定したメロスは、捕らえられ処刑されることになるが、妹の結婚式に出るため親友を人質としておいていく。その帰途、メロスは度重なる困難に出遭い、心にくらげ生ずるが、再び彼は必死に走り出す。

小泉八雲

ちんちん小袴

12分38秒

秋元薫

昔、豊の面倒をみる妖精がいて、豊を汚したりだめにしたりする子供たちを、かかったりおどかしたりしていた。ある晩、怠け者の嫁の枕元に、突如、一寸ほどの小人が何百となく現れ、歌い踊り始めた。やがて嫁は病気になる。

小川未明

赤い船

12分57秒

鍋田啓子

貧しい家にそだった露子は、学校のオルガンの音を聞くたびに外国を思い浮かべていた。やがて東京へ出た露子は、大きな汽船を見て、船に乗って外国へ行きたいと思う。ある日、露子のところへ南の海からつばめが一羽やってきた。

菊池寛

三人兄弟

26分50秒

武田たか子
赤沢伸子
川谷内栄子

都から遠く離れた丹波の国のある村に、三人の貧しい兄弟が住んでいた。三人は先行きを考え一緒に都に向かう。途中、道が三筋に分かれていて、それぞれ別の道を進む。十年後、その行く末は大きな違いとなり、兄弟は再会する。

芥川龍之介

杜子春

25分05秒

石原みほ子

贅沢三昧の暮らしから、再び一文無しになって途方に暮れていた杜子春を大金持ちにしてくれた老人は仙人だった。杜子春はもう贅沢に飽きて仙人になろうと弟子入りしたが、その修行は凄まじく地獄で馬と成り果てた両親に出会う。

小川未明

野薔薇

9分44秒

緒方郁

大きな国の老人兵と小さな国の青年兵がお互いの国境を守っていた。二人は一緒に薔薇を育てたしるすうちに仲よくなる。やがて戦争が始まり、青年は戦争に赴き老人は国境に残される。ある日、旅人が訪れ薔薇の香りを漂わせる。

宇野浩二

でたらめ経

19分27秒

中島幸子

一軒家にすむお婆さんはやって来た旅人にお経を教えてほしいという。旅人はお経を知らないので、眼に付くものを片っ端から口にしてお経にしてしまう。お婆さんがその通りに唱えていると、ある晩、泥棒がお婆さんの家に入って来る。

秋田雨雀

三人百姓

20分23秒

見城敦子
北村敏子
市川俱子

仲のよい三人の百姓、伊作、多助、太郎右衛門が炭俵を町へ売りにいく途中、赤ん坊をひろう。伊作と多助は、赤ん坊の胴巻きから出た小判を分け、太郎右衛門は赤ん坊をもらい大切に育てる。四年後、立派な駕籠がその子を迎えにくる。

宮沢賢治

虔十公園林

18分42秒

伊藤節子

いつもハアハア笑っていて子どもたちから馬鹿にされていた虔十は、ある日、杉苗を植えることを思いつく。まわりから反対されながら懸命に育てた杉林は、やがて、子どもたちの格好の遊び場となり、虔十の死後も永く愛されていく。

芥川龍之介

魔術

21分26秒

前田敦子

欲のある人間に魔術は使えない、あなたは欲を捨てることができずかと魔術師から問われ、はい出来ません、と答えて「私」は魔術を習う。ある日、友人たちにそのかされた「私」は、つい魔術を使ってゲームで大勝ちしてしまう。

若松賤子

忘れ形見

21分44秒

山崎洋子

徳蔵おじと暮らす孤児の「僕」を愛しく思い優しくする子爵夫人。臨終の際にも「あのお方のように潔く生きるように」と遺言する。未亡人の彼女を是非にと妻にした子爵は乳飲み子だった「僕」を手離すよう迫っていたのだ。

北原白秋

とんぼの目玉

10分56秒

平出鏡子

「とんぼの目玉はでっかいな、地球儀の目玉、せわしな目玉、目玉の中に、小人が住んで、千も万も住んで、てんでんに眼鏡で、あっちこちのぞく」。作者は子どもに還らなければ自然の大切さがわからないと述べる。

小川未明

赤いろつそくと人魚

22分14秒

小田島恭子

北の海の人魚は、子どもが人間のように幸せに暮らせるようにと願って陸で子どもを産んだ。蠟燭づくりの老夫婦に育てられた人魚の娘は可愛く育ち、蠟燭に絵を描いて喜ばれる。やがて、噂を聞きつけた香具師が娘を買いにやってくる。

豊島与志雄

手品師

18分43秒

小宮和子

ベルシヤにハムーチャという手品師がいた。いつも酒を飲んでいて貧乏だった。ハムーチャはすべてのものを煙にかえてしまう術を身につけるため七年の修行をつむ。やがてハムーチャの術は評判を呼ぶが、思わぬ結末が待っていた。

福沢諭吉

イソップ物語

11分23秒

堀田紀真

子どもたちが池の中へ小石を投げ入れて遊んでいた。一匹の小さなカエルが、水面に浮かぶ葉っぱの上にとびのると言った。「石を投げ入れることは、君たちにはなぐさめでも、私たちには命にかかわること、よくこの道理を知りなさい」。

宮沢賢治

雪渡り

21分57秒

高橋美恵子
吉川やす子
曾我しづ子

四郎とかん子は、雪香をはいて、すっかり凍った野原に出た。二人が狐の歌を歌っていると、本当に狐がやってくる。狐に団子をすめられたかん子は「狐の団子は兎のくそ」と歌う。狐は、評判をとりもどすため二人を幻燈会に招待する。

宮沢賢治

銀河鉄道の夜

30分59秒

長谷川葉月
鶴月光子

ジョバンニは、理科の授業で銀河の勉強を終えて家へ帰る途中、丘の上で眠ってしまふ。気がつくときジョバンニは銀河鉄道の中でカムパネルラと出会い、時間と空間を超えて銀河の世界を旅するが、目をさますとカムパネルラはいなくなっていた。

小泉八雲

鯨人の恩返し

12分39秒

近江千恵子

琵琶湖の畔にすむ俵屋藤太郎は、竜宮を追われた鯨人を助け世話をする。やがて藤太郎は、出会った娘に一目惚れし求婚する。家族に莫大な財産を要求され、絶望のあまり病気になるが、竜宮を思い出して泣く鯨人の流す涙に救われる。

鈴木三重吉

デイモンとピシナス

14分28秒

小畑喜代子

古代ギリシア、地中海のシラクユースという町に、残酷な議政官ディオニシアスがいた。謹厳実直な数学者ピシナスはその非道を諫めたが、逆に怒りを買い死刑を宣告されてしまう。その窮地を救ったのは親友デイモンの献身であった。

島崎藤村

二人の兄弟、幸福

12分28秒

岡野尚子

「幸せ」は人のこころを知るために乞食のすがたで人々の家を訪ねる。犬は追い立て、鶏は用心深く鳴いた。「幸福」／二人の兄弟は榎木の実が落ちるのを楽しみにしていた。弟は気が短く、兄は気が長かった。「二人の兄弟」

